

PUBLIC SYSTEM

リモコンゲート

PCG 05R

施工要領書

リモコンゲート施工要領書

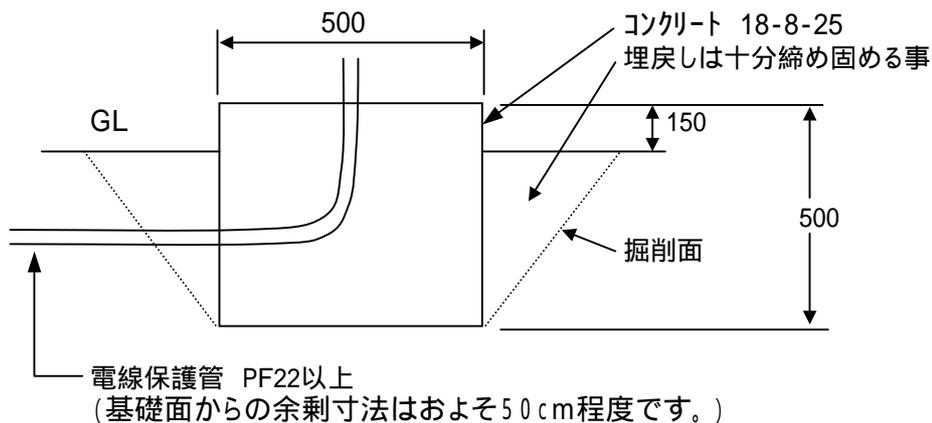
1. 特記事項

工事の際下記の危険が予測されるので、十分注意して事故の無いよう工事を実施願います。

作業内容	危険性	対応策
運搬時	機器が転倒し、怪我をする	水平で、動かない場所に機器を置く事。
	重量物運搬による腰痛の危険	台車を利用する。 2人以上で持つこと。
	底面金属部での裂傷	ゴムつきの手袋を着用する。
	床面の損傷	床面にベニヤ板を敷く等の配慮をする。
作業時	扉閉閉時、車/物に当たる危険	作業エリアに車/物を置かない事
	カバーの落下、つまづきによる怪我の危険	カバー等は倒れないよう安全な場所に置く事。
	据付時に手足を挟まれる	2人以上で作業し、声を掛け合う。

2. 基礎工事

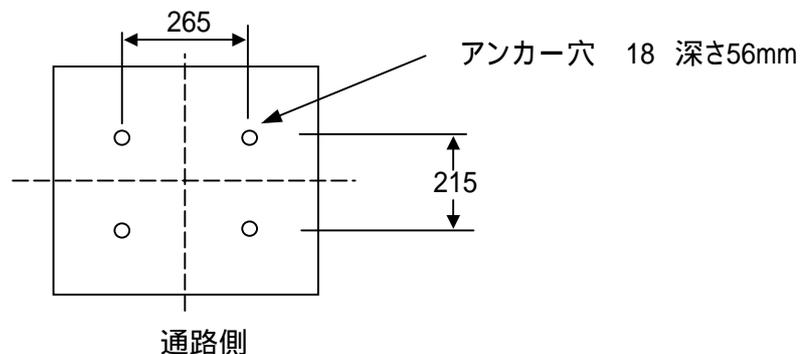
カーゲート単独基礎の標準寸法は以下を参考にしてください。



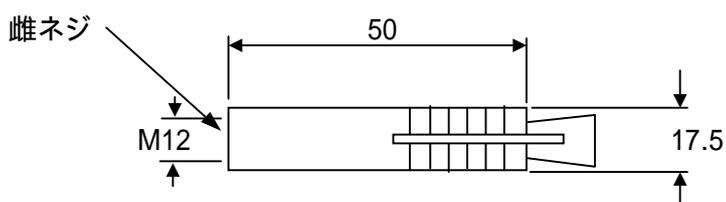
3. アンカーボルト設置作業

3 - 1 設置寸法

アンカー穴位置及び削孔寸法は以下を参考にしてください。

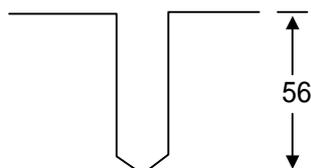


アンカーはホークカットアンカーのSUS 12CAを推奨します。



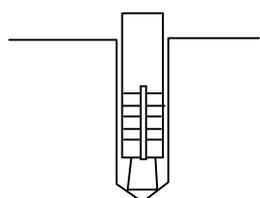
3 - 2 アンカー取付手順

(1) 削孔



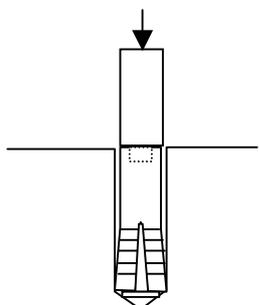
振動ドリルで削孔します。
 ドリル径は 18mm
 削孔深さは 56mm
 穴の中に溜まったコンクリート屑はゴムか塩ビ管を挿入してエアを吹き込み排出します。

(2) セット



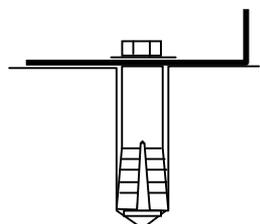
ホークカットアンカーを挿入します。

(3) 打込み



雌ネジ用打込み金具を被せて
 ハンマで叩き込みます。
 打込み金具は「ボルトアンカー用ハンドホルダー」
 (サンコーテクノ株式会社製)を推奨します。
 使用ハンマは1.3kgクラスを用いてください。

(4) 架台取付



カーゲート本体から架台を外します。
 M12ボルトでカーゲート架台をとりつけます。
 架台をアンカー位置に合わせて据付けた時、水準器で架台上面の水平をチェックします。調整が必要な場合は基礎面と架台底面の間にM12用のワッシャーを挟んで行います。
 カーゲート本体を架台に取付けます。
 コンクリートと架台の間はシリコンシーラントでシールしてください。

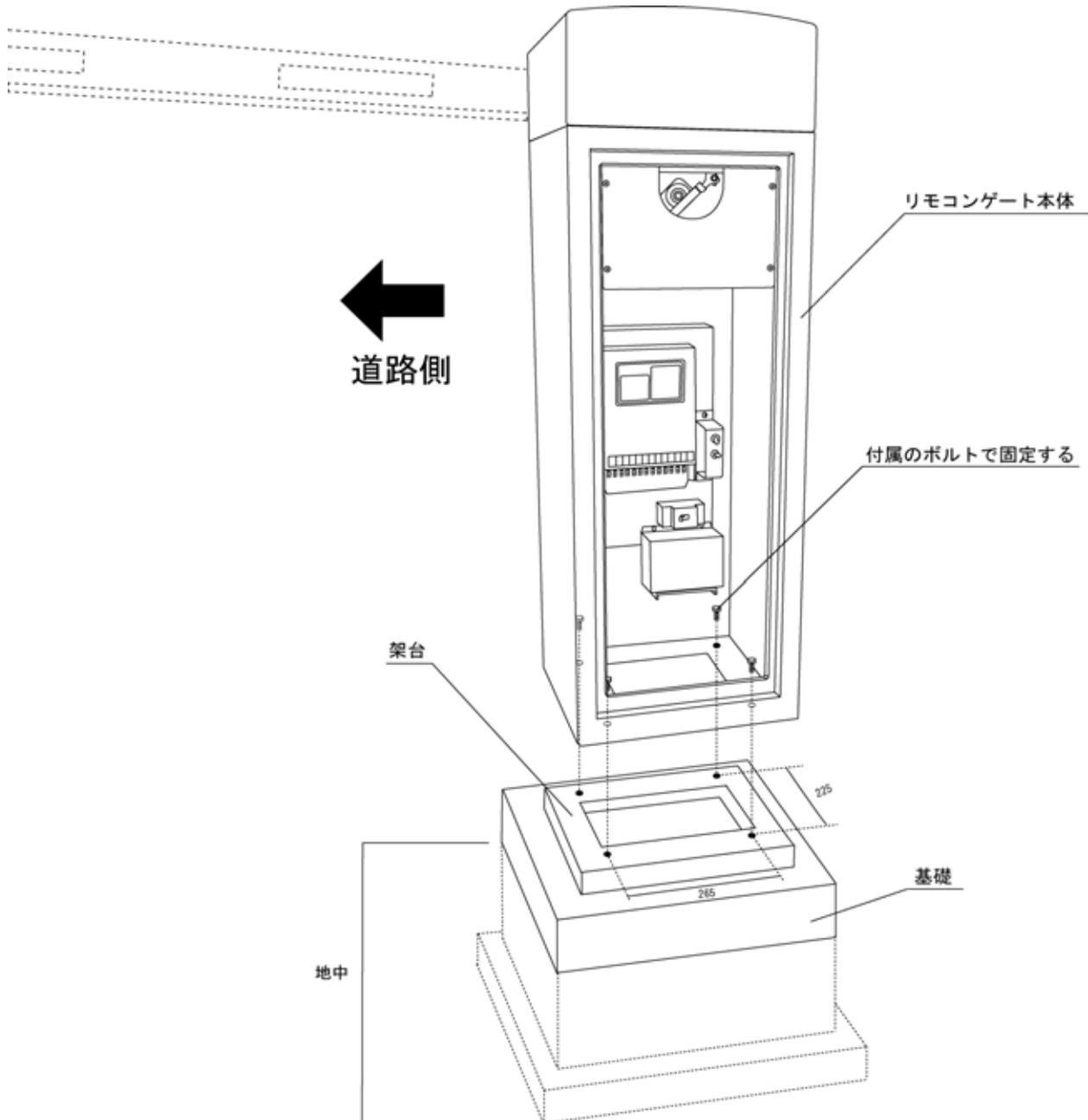
3 - 3 リモコンゲート取り付け手順

以下の図を参考に架台へ本体を取り付けてください。

この時、取り付ける向きにご注意ください。

また、ゲートバーはまだ取り付けずに作業を行ってください。

1. リモコンゲート本体を方向に注意して架台の上に乗せる。
2. 付属のボルトで4箇所を固定する



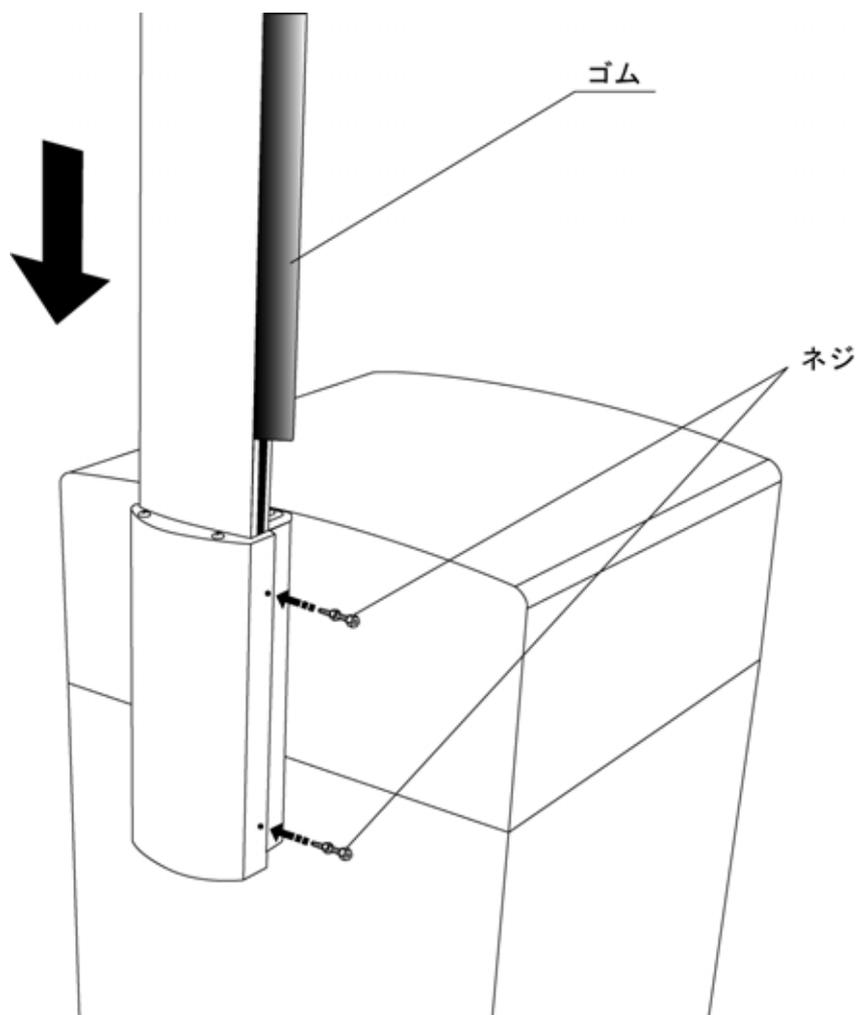
結線図に従い、電源線を接続してください。

結線が完了したら動作確認を行います。

1. 電源スイッチをオンにする。
2. 付属のリモコンを使用して開・閉の動作を確認します。
この時、初回の動作のみゲートバーの開閉がゆっくりとなります。

動作確認が完了したら、ゲートバーを取り付けます。

1. リモコンの開ボタンを押して、ゲートを「開」の状態にします。
2. 本体の電源をオフにします。
3. ゲートバーを差し込みます。この時バーの向きに注意してください。
閉まったときに下側になる方に黒いゴムが来るように差し込みます。
4. 2箇所をネジで固定します。



ゲートバーの取り付けが完了したら、もう一度動作確認を行い、設置完了です。